

JBI gLOCAL Solution Room 2025

参加者募集

- ・このイベントは、臨床現場でエビデンスを実践するための課題に対して具体的な解決策を提供することを目的として、2025年6月23日から27日まで世界各国で同時開催されます。
- ・今年度は**日本とタイの共同開催**となります。
アジア圏における日本とタイの医療制度と看護を知り、エビデンスに基づく実践がどのように行われているのか、また課題としてどのようなことがあるのかについて知ることができます。
- ・プログラムは英語で行われますが、**日本語の自動翻訳字幕を表示**いたします。
参加者の皆さんには**日本語に翻訳した資料を事前に送らせていただきます**。
- ・大手前大学インプリメンテーションセンターでは、エビデンスを臨床で取り入れ、日々の実践で使うとはどのようなことなのかについて、EBP（Evidence-Based Practice）の考え方、実際の取り組み事例を紹介し、組織的に取り入れていくことについてお伝えしていきます。

■ テーマ

アジアの医療現場における 国際的エビデンスに基づく実践の課題

- 日 時：6月25日（水） 17：00～19：00
- 開催方法：オンライン（Via Zoom）
- 対象者：エビデンスに基づく医療や国際看護に関心のある医療者、大学教員、学生
- 参加費：無料
- 申し込み方法：以下の【申し込みURL】あるいはQRコードを読み取り必要事項をご入力ください。



【申し込みURL】

<https://forms.office.com/r/v9N55BqMCY?origin=lprLink>

- 申し込み〆切：**6月19日（木）正午まで**

皆様の参加申し込みを
お待ちしております

プログラム

講師の先生方

	時間	内容
Session 1	17:00-17:10	開会挨拶 JBIの紹介と共同研究の目的について Parowan Witwaranukool 先生 西村直子 先生
Session 2 タイにおけるエビデンスに基づく実践と課題	17:10-17:20	「タイ文化における医療制度と看護」 パネリスト： Parowan Witwaranukool 先生
	17:20-17:40	「JBIの実施とフレームワーク」 パネリスト： Ratchanok Phonyiam 先生
	17:40-17:55	「エビデンスに基づく実践を用いたタイにおける糖尿病の臨床看護実践ガイドラインの開発」 パネリスト： Ratanaporn Jerawatana 先生
	17:55-18:00	Q&A Parowan Witwaranukool 先生 Ratchanok Phonyiam 先生 Ratanaporn Jerawatana 先生 Donruedee Kamkhoad 先生
Session 3 日本におけるエビデンスに基づく実践と課題	18:00-18:15	「日本におけるエビデンスに基づく実践の障壁と課題」 西村直子 先生
	18:15-18:40	「70歳代の転倒予防エビデンスを実践して」 池上良子 先生
	18:40-18:50	Q&A 西村直子 先生 池上良子 先生
Session 4	18:50-19:00	閉会挨拶 Parowan Witwaranukool 先生 西村直子 先生



Parowan Witwaranukool 先生
タイJBI-MURSON所長
マヒドン大学ラマティボディ病院
医学部看護学科
成人・老年看護学講師



Ratchanok Phonyiam先生
タイ、マヒドン大学ラマティボディ
看護学部地域保健看護学科講師。



Ratanaporn Jerawatana先生
タイ、マヒドン大学ラマティボディ
病院医学部看護サービス課アドバ
ンス・プラクティス・ナース
(APN) 専門は糖尿病ケア



Donruedee Kamkhoad先生
マヒドン大学ラマティボディ病院
医学部看護学科小児看護学講師。



西村直子 先生
大手前インプリメンテーションセンター
ディレクター
大手前大学国際看護学部小児看護学教授



池上良子 先生
東近江総合医療センター
教育担当看護師長

ご質問等がある場合は、以下までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

国際看護研究所（大手前大学インプリメンテーションセンター事務局）

ignosaka@otemae.ac.jp



Otemae University
Implementation Center